

謹啓 盛夏の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し御支援、御協力を賜り心より感謝申し上げます。

このたびは、つばきネットワークとして遠いところ気仙沼にお越しいただき、春日丘高校様をはじめとする生徒さんとの交流活動は心温まるもので、本校の生徒たちも思い出に残る時間を過ごすことができました。

また、多大な義援金を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。頂戴した義援金は教育活動資金として生徒のために有効に使わせていただきたいと思います。

東日本大震災から5年4ヶ月が経過しました。かさ上げ工事や災害公営住宅の建設などが少しずつ進行しておりますが、本校生の中には仮設住宅から通学する生徒が未だ40名ほどおり、また、震災体験の風化を被災地から起こさない取り組みも本校として考えていかなければなりません。

そうした中、本校の生徒たちは学習や部活動をはじめ、様々な活動に意欲的に取り組んでおり、日本全国はもとより世界各地のさまざまな方々から頂戴した数多くの心温まるご支援や思いに応えるべく、本校職員及び生徒が丸となり今できることを着実に実行して頑張っているところです。今後も未来社会を構想し、スケールの大きな復興の担い手の育成を目指してさらなる努力をして参る所存です。

結びになりますが、貴校の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

謹白

平成28年7月20日

大阪府立春日丘高等学校

校長 湯峯 裕 殿

宮城県気仙沼高等学校長 小山

